

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	令和6年度 第3回高松市在宅医療介護連携推進会議
開 催 日 時	令和6年9月9日(月) 19:00~19:50
開 催 場 所	高松市医師会館 2階 大会議室
議 題	1 各部会からの報告 2 高松市在宅医療支援センターの報告について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出席委員	16人 吉澤委員長、大原職務代理、井上委員、大橋委員、岡野委員、北代委員、日下委員、辻委員、中村委員、永岡委員、橋本委員、林委員、藤原委員、古川委員、松本委員、三村委員
関係者	市医師会事務局(5人) その他: 医師会(伊藤会長、和田副会長、香川理事、佐用理事、真鍋理事)
傍 聴 者	0人
担 当 課 及 び 連 絡 先	長寿福祉課 地域包括ケア推進係 839-2346 在宅医療支援センター 839-2344 保健医療政策課 839-2860 介護保険課 839-2326 地域包括支援センター 839-2811

協議経過及び協議結果

1 各部会からの報告

(1) 退院支援・医療介護連携部会

○ 7/28 第1回 医療介護連携ミーティングについて

【日 時】 令和6年7月28日(日) 9:30~12:15

【場 所】 高松市医師会 5階ホール

【テーマ】 「リハビリテーション再考~あなたの知らない〇〇リハ~」

【講 師】 高松協同病院 副院長 植木昭彦医師

香川県理学療法士会 副会長 藤井保貴氏

香川県作業療法士会 理事 若林佳樹氏

香川県言語聴覚士会 副会長 黒川清博氏

【参加者】 78名 (アンケート回収率: 74.4%)

T委員

・普段から連携しているリハビリ職種について、改めて役割や特徴について知る機会になり、アンケート結果によると、参加者からも好評であった。

・開催形式について、ハイブリッド開催を望む意見があった。

A委員

・毎回、一定の成果をあげられている。開催形式やテーマについて、部会委員以外からも意見があ

れば、検討したい。

- 8/20 第3回 退院支援・医療介護連携部会
 - ・第2回 医療介護連携ミーティングの開催について
 - 【日時】令和6年11月9日(土)午後
 - 【場所】高松市医師会 5階ホール
 - 【内容】事例を通して、多職種連携を考える。取り上げる疾患やテーマは検討中。

(2) 在宅医療コーディネーター部会

【受講生】44名

【研修】例年、訪問診療の様子をビデオ学習していたが、今年度は、訪問診療の同行ができる見込みのため、ビデオ学習を市民公開講座に置き換える。ACP について学ぶ機会にする。

(3) 多職種連携部会

- 市民公開講座について
 - ・後援申請を各職能団体へ依頼する。
 - ・広報は、広報高松(1月号)、公式 SNS の配信、報道発表、総合センター等へのチラシ設置を行う。
 - ・申込期間は、1/6(月)～2/7(金)とし、申込開始後1週間ごとに重複申込の有無を確認し、入場用はがきを発送する。
 - ・当日の配布資料は、あんしんガイドブック、人生会議パンフレット、在宅医療支援センターリーフレット、地域包括支援センターリーフレット。
 - ・当日の役割分担は、司会、前説、挨拶(はじめ・終わり)、受付とする。
 - ・行事名を「高松市在宅医療と介護に関する市民公開講座」とする。

(4) ICT 部会

- 在宅ケア便利なびの更新について
 - ・新規開業医療機関の掲載について、承認を得る。

A 委員

・現在、検討中の情報共有ツールについて、実用化に向けてマネジメントや事務局、費用等の具体的な検討が必要である。情報共有シートを作成した、退院支援・医療介護連携部会との合同部会を開催する事も考えなければならない。

2 高松市在宅医療支援センターの報告について

- 令和6年7・8月の活動報告
- 【相談件数】7月：19件、8月：30件

A 委員

・他機関につなげた事例と、支援センターのみで対応できた事例の件数を、分析してみてもどうか。相談窓口が増えることは、市民にとっては良い事だと思う。

【次回の会議】 令和6年9月9日(月) 19:00～ 高松市医師会